

学术刊行物
ISSN.0389-8628

令和四年三月一日発行

関西大学国文学会

國
文
學
子

令和四年三月
第一〇六号

目次

『琴歌譜』十一月節「歌返」	福原佐知子	1
——「御井の上に植ゑつや」を中心に——			
冷泉家時雨亭文庫蔵『中御門大納言殿集』の筆者分類	阿部彩乃	17
——俊成監督書写本の整理をめざして——			
『信貴山縁起絵巻』に語られる命運	大西春香	27
——第二巻「延喜加持巻」と『山槐記』について——			
備前岡山藩池田綱政の和歌修練②	福留瑞美	45
——飛鳥井雅章添削の七十七首を中心に——			
個人句集序説	三原尚子	61
——個人句集の誕生から流行まで——			
谷崎潤一郎の戦略	猪口洋志	79
——古典回帰時代の語りと視点の変遷——			
池田みち子「国際都市」論	邵金琪	99
——統制下の暗潮——			

戦死者が／を語る〈記憶〉	辻	秀平	113
——川端康成「英霊の遺文」の諸相——				
石川淳「天馬賦」論	吉田	拓也	133
——見出されたアナキズム——				
筒井康隆「夢の木坂分岐点」論	松山	哲士	149
——夢世界における死をめぐる——				
近世初期俳諧集『西鶴五百韻』の用語「厄害」 ^{ヤツカイ}	田中	巳榮子	167
——「厄介」との関連性をめぐって——				
国文学会彙報			183

山崎豊子『大地の子』の構想に関する考察 唐 楚輝 (1)

——「中国残留孤児」当事者の評価を手掛かりにして——

『万葉集』における動詞「さす」の意味用法 山口翔平 (23)

——上代における自他両用動詞の一例——

『日本書紀』古写本にみる助数詞「枚」の訓みと対象語 張 翔 (43)

天正十八年本『節用集』の漢字字体 徐 茂峰 (59)

諺字の造字法 岩 下真央 (75)

——形態的特徴の整理と分類——

質問場面にみられる依頼表現の比較 辻 岡咲子 (93)

——国会会議録の資料から——

談話類型からみた現代漫才 日 高水穂 (109)

——『M-1グランプリ』決勝ネタの分析——